株式会社福井プラントメンテ				銘柄コード 8210001011934	
	1				【取組の概要: 業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】
日本標準産業分類	コード	項目名	エネルギー総使用量	2,463 GJ 549 kl	[収配の保安: 未介の争消 すを う思した収配に プい し (た 星 指像 /)
中分類	98	地方公務	前年度エネルギー総使用量	kl	
細分類 (申請事業)	3631	下水道処理施設維持管理業	非化石エネルギー 総使用量	GJ kl	
エネルギー管理統括者	【役職】 【氏名】		調整後温室効果ガス 排出量	t-CO ₂	
エネルギーの使用の合理化	1		【調整後温室効果ガス排出	<u> </u>	【取組の概要: 業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】
主たる事業における エネルギー消費原単位**注		原単位分母	種別	合計量	_1. エネルギーの使用の合理化に関する事項
(2024年度実績)	主たる事業 の構成割合	%	Jクレジット	t-CO2	照明や空調の使用時間の削減、空調の温度設定、LED照明の導入等を実施した。 今後も適切な執務環境を維持しつつ、省エネ対策を進めていく。
事業者全体の	2020 202 年度 年度		-	- t-CO2	
エネルギー消費原単位 対前年度比			-	- t-C02	
事業者全体の 5年度間平均原単位変化(%)			-	- t-CO2	
		定されるものではなく、日本標準産業	L		2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項
電気の需要の最適化】		原単位分母	【非化石エネルギーへの		下水処理の過程で発生する消化ガスを消化タンク加温用のボイラーの燃料として利用し、化石燃料使用量削減に努めている
主たる事業における 電気需要最適化評価原単位 (2024年度実績)		原甲位万耳	電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気	今後は余剰ガスの更なる有効利用について検討を行う(消化ガス発電)。併せて、太陽光パネルの設置について検討を行う。
DR実施日数			目標(2030年度)	28.7%	
事業者全体の 電気需要最適化評価原単位 対前年度比	2020 202 年度 年度		直近5年度間の実績値	2020 2021 2022 2023 2024 年度 年度 年度 年度 年度 28.7	
事業者全体の			目安設定業種		
5年度間平均原単位変化					【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】
ベンチマーク指標の状況(合 ベンチマーク区分	理化)]		目安(2030年度)		1. 自由記述欄 (カーポンニュートラルの実現等に責する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)
目指すべき水準		kl/t以下			
		KE/LEL F	目標(2030年度)		
ベンチマーク指標の状況			**CF##***	2020 2021 2022 2023 2024 年度 年度 年度 年度 年度	
ベンチマーク区分			直近5年度間の実績値		2. 関連リンク
目指すべき水準		kl/t以下	目安設定業種		:
ベンチマーク指標の状況					:
ベンチマーク区分	-	-	目安(2030年度)	-	
目指すべき水準		-	1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	_	
ベンチマーク指標の状況			目標(2030年度)	_	
ベンチマーク区分	_	-	口标(2030年度)	2020 2021 2022 2023 2024	
目指すべき水準		-	直近5年度間の実績値	年度 年度 年度 年度	(注意事項) ・赤枠囲み欄は必須記載です。
ベンチマーク指標の状況		-			・再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間におい情報の公表を継続する必要があります。